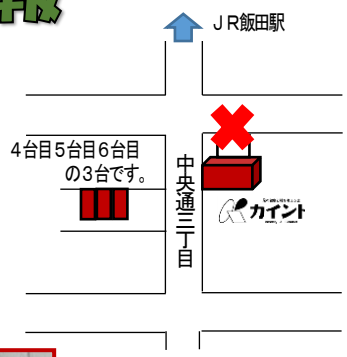
INFORMATION

＜大切なお知らせ＞　専用駐車場情報

いつもご利用いただいていました店舗横の駐車場（２台分）は、2016年６月16日より使用できなくなりました。中央通りを挟んだ店舗斜め前の「VIVIANさん」駐車場、４台目、５台目、６台目の３台分が**カインドの専用駐車場**です。お車でご来店の際にはこちらの専用駐車場か、お近くの有料駐車場（駐車券あります）をご利用ください。



入口にこの看板！

飯田駅に向かって行くと左側です。

４台目５台目６台目の３台です。

入口にこの看板！

飯田駅から下りてくると右側です。

＜いしつぶつがかり＞

2017/11/20 現在

お客様が、カインドへ忘れたり、落としたりして行かれた物をご案内します。お心当たりの方はご連絡下さい。

●メガネ（ワインの縁。弦の部分にステンドグラス風装飾）●エコバック（ワイン地に黒の格子柄）

●鍵（カウボーイの格好の犬のキーホルダー付）●ブローチ（ゴールドとシルバーのねじったような円形）

●ご婦人用ジャケット（オークグレーのツイード素材。千趣会）●メガネ（細い茶色の縁）●黄緑縁のサングラス(子供用)

●ご婦人用傘（金茶に黒の縁。木製の柄。骨24本[一か所破損]）

12月・1月の営業のご案内

●急な都合で、休みが変更になることもございます。最新情報は、HP(https://www.kind-iida.net/)でご確認下さい。

【2017年12月】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

○印　休みをいただきます。

【2018年1月】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

飯田支店
料金後納郵便
ゆうメール

VOL.13　2017年11月20日　[ホームページ]https://www.kind-iida.net/

疲れない靴 カインド通信

発行：(有)カインド　〒395-0041 飯田市中央通り3-14　TEL:0265-23-9241

バックナンバーは、疲れない靴　カインドで検　索　又は、TEL:0265-23-9241 E-mail:kind@eagle.ocn.ne.jp までご連絡ください。

え？革靴って洗えるの？！

＜シューフィッターからお伝えしたいこと＞

そうなんです。革靴って洗えるんです！

革靴って洗えないものと思っていませんか？そんなことはないんですョ。洗っちゃっても大丈夫なんです。ただし、正しいやり方があるので今回はそのご紹介です。一番大事なポイント(鉄則です)は・・・乾かすときには、**天日干しやストーブの前とかで熱を加えて乾かさないこと。絶対ＮＧです！！**

1）M.モウブレィ・ステインリムーバーで表面の汚れや油分を取り除く。

2）クリーニングスポンジに水を含ませて靴全体を濡らし、スポンジでM,モウブレィ・サドルソープ(起毛素材はM.モウブレィ・スエード&ヌバックシャンプー)をよく泡立て、靴全体にのせ、クリーニングブラシで、円を描くように丁寧に洗う。

4）スポンジで、泡と汚れを洗い流す。(少しぬめりが残る程度)

（スエード＆ヌバックシャンプーはしっかり洗い流す。）

5）タオルドライの後、靴の中に新聞紙を詰めて形を整えて、風通しの良い日陰で干す。

6）乾いたら靴クリームを塗って補色、栄養補給、保湿をしておく。

【ハイ！できあがり！！】

【重要】営業時間変更しました。

2017年7月1日より下記の通り、営業時間を変更させていただきました。最新情報はホームページをご覧ください。
[ホームページ]https://www.kind-iida.net/　⇒

2017年7月1日（土）より
●新しい営業時間：
10：00～19：00
●定　休　日：毎週水曜日

【カインドからの重要なお願い】

靴は半製品

人間の足は100人100様です。その足に合わせる靴は既製品。すんなり合うほうが不思議です。不都合がありましたら、必ずお知らせください。調整させていただきます。「履き心地」はお客様と私達シューフィッターの共同作業によって出来上がるものだと考えています。又、修理、メンテナンスも致しますので、遠慮なくお申し付けください。

カインドの「手仕事市」初 開催です。

Makiko Weaving

開催場所：中央通り３丁目「カインド」　　開催期間：2017.11.25（土）～12.3（日）

カインドのお客様でもある鋤柄眞紀子さんが、気持ちを込めて一つ一つ丁寧に織り上げた絹やウールの自然素材の魅力を味わってください。どれをとっても素晴らしい作品ばかりです。肌触りの良さや、自然素材の魅力を手に取って体感していただけるこの機会に、世界に一つしかないONLY ONE の貴女だけの逸品を見つけてみませんか？

数か月前からお願をしていまして、やっと実現しました。私どもも今から大変楽しみにしている初めての「手仕事市」の開催です。

では、ご来店お待ちいたしております。

＜　作者より　＞

鋤　柄　眞　紀　子
Sukigara　Makiko

風越山の山麓で、遠く南アルプスを望みながら畑を耕し、糸を染め、機織りをしています。

絹やウール等の自然な素材を使い一枚の布の中に動きを表現しようと、織り方や絣、異素材の組み合わせ等で工夫しながら織っています。仕上がりも肌に優しくなるように心掛けています。絹は体を守るとても優れた繊維です。ウールは遊び心あふれる楽しい素材です。

一つ一つの作業を丁寧にする手仕事の良さをぜひ手に取って体感してください。織りあがった布が皆様のお手元で長くご愛用いただけますよう願っております。

パッチワークキルト展　by mineko mugishima

開催場所：中央通り３丁目「カインド」　　開催期間：2017.12.9（土）～12.17（日）

＜作者より＞

麦　島　峰　子
Mugishima Mineko

20 年務めた仕事を辞めて 7 年。このパッチワークの仲間に出逢えて 5 年。今は、家でおはぎを作りながらほぼ毎日針を握っています。

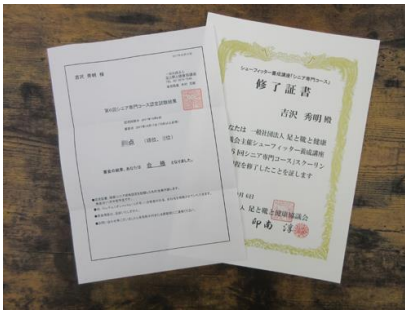
昔から、手仕事は好きだったけど、まさかこんなにキルトにはまるとは思ってもいませんでした。

あんなに肩こりがひどかったのに、今は好きなことをやっているせいか、整骨院(マッサージ)には行ってません。不思議です。(笑)好きな布で好きな作品をひたすら作り続けています。楽しいですよ。

麦島峰子さんも、カインドとは長いお付き合いです。毎日針を握るほど、はまっているパッチワーク。

出来上がった作品は、麦島さんのセンスがあふれる逸品ぞろいです。味わいのある、手仕事の素晴らしさ。世界に一つしかない一点ものの魅力を是非ご覧いただきたいと思います。

シニア専門シューフィッターの資格取得しました。



１０月５日（木）-６日（金）、２日間のシニア専門の養成講座を受講してきました。最後には、何年ぶりかのペーパーテスト。なんだか学生に戻った感じで、新鮮な緊張感でした。ドキドキしながら待つこと１週間。来ました、合格通知！！いくつになっても合格通知をもらうのはうれしいものですね。おかげさまで、二人ともそろって合格できました。

養成講座では、年を重ねるとはどういうことかとか、高齢者に多い整形外科疾患や内科疾患についても学び、身体が思うように動かせない高齢者の辛さの疑似体験もし、そのような方の辛さに寄り添った靴屋になれるようにしなければと心を新たにしました。

お一人お一人状況が違うので、良くお話をお聞きして、その方が毎日、少しでも質の高い生活ができるお手伝いが出来るよう、まだまだ勉強が必要です。

ウォーキングウェーブ１０周年記念事業行いました。

地元紙「南信州新聞に掲載されました。」

2017年(平成29年) 10月17日 火曜日 南信州新聞

10周年記念

「街も体もきれいに」

ウオーキングウエーブ 丘の上でごみ拾いウオーク

市民有志団体「IDA WAVE」のウオーキングウエーブ（吉沢秀明代表）は15日、結成10周年イベント「丘の上でごみ拾いウオーキング」を飯田市街地で行った。22人が10コースに分かれて約4キロを歩き、小雨の中で1時間のごみ拾いに励んだ。

お世話になっている地域に感謝し「街も体もきれいに」と開催。市教育委員会生涯学習スポーツ課が共催してごみ袋を提供し、一般も参加した。

ウオーキングウエーブは2007年4月に発足。現在、約50人の会員が活動中で、50代から80代の中高年が占める割合が高い。

毎月の例会は第3日曜に開き、その都度設定する約6キロのコースを牧内さんの指導で、指導で準備運動をしてから、片手に棒、もう一方の手にごみ袋を持って出発。沿道のごみを拾った。

各自のごみ袋は1時間ではほぼいっぱいになり、終了後に分別した。

メンバー有志がやまびこマーチの実行委員会に加わり、大会を支えている。

古沢さんは「月1回でもウオーキングすることで、このくらいの距離なら車でなく歩いていこう」という気になる。プロの指導が違ってくる」と話し、新会員を募っている。

問い合わせは事務局（電話090・1221・2）か吉沢さん（電話090・2452・6009）へ。

市街地のごみを拾うメンバーら

静寂の世界に引き込む

飯田市 川井さん夫妻が水墨画展

飯田信用金庫本店ロビーで20日まで、飯田市伊豆木の川井利美さん（87）、友子さん（83）夫妻による水墨画展が開かれている。額装、軸装の作品10点余りを展示。風景を中心に、墨の濃淡やほかしの技法で繊細に描き上げた作品は、見る人を静寂の世界へと引きこむ。

利美さんは「老後の趣味に」と、50代で水墨画を始め、以来、「ぼかしの表現」にすっかりと魅了され、作品を描き続けてきた。80代になってからはほとんど筆をとらなくなったが、「仲間らへ、元気にやっていることを伝える機会に」と展示会を開いたという。

「黒が創りだす幻想的な世界を、頭にイメージしながら筆を走らせる」という利美さん。山々や海、海に浮遊伝説などを

1997年４月５日の、満開の桜を愛でながらのさくらウォークが最初の事業でした。気が付けば、早いもので１０年が経ちました。そこで、いつも歩いている、飯田の街に感謝の気持ちを込めて、街も身体も美しくと１０周年記念事業、丘の上ゴミ拾いウォークを実施しました。１０月１５日、あいにくの小雨模様の中、早朝６：30市役所に集合し、９つのグループに分かれて、市内のゴミを拾って歩きました。メンバーだけでなく市役所のご協力も得て、一般の方も参加していただけたのは、うれしかった事です。一見きれいに見える街も、意外とゴミがあるものですね。特にタバコの吸い殻が多く目につきました。集めたごみは、市役所で分別して、午前9:００頃には終了。街もきれいになりました。皆さんお疲れ様でした。